

1 本校の現状

- ・生徒は部活動の仲間とともに学び合う、競い合うことに価値を感じている。取組の過程を重んじ、努力をすることの必要性を強く感じている。
- ・本年度より希望参加制とし、教職員は本校で定めた部活動の目標や運営方針に従い、参加する大会・コンクール等を精選した上で、月間等の活動計画を作成している。

2 本校における課題

- ・塾や習い事に通っている生徒も多く、部活動等と家庭での学習を両立するにあたり、家族と触れ合う時間や適切な睡眠時間が確保されているかという心配がある。
- ・大会・コンクール等では、早朝からの準備や会場への移動手段等、課題が多い。
- ・授業後や休日の活動のため、教員にとって教材研究や授業準備、生徒と向き合う時間の確保について、多忙化の一因となっている。

3 具体的な活動方針

(1) 部活動運営について

- ・学校は、適切な部活動運営を組織的に行うため、指導・運営体制を整備する。
- ・校長は、部活動の目標等を策定し、心身ともに健全な生徒の成長を図るとともに、教員、生徒の過度な負担につながらないよう指導・管理する。
- ・顧問は、仲間との関わりを大切にし、礼節を身につけ、心身を鍛える生徒を育てるよう指導する。

(2) 活動量（休養日や活動時間等）について

ア. 平日

- ・活動日は、週3日以内とする。（原則、火・水・金曜日を活動日とする）
- ・活動時間は、1日80分以内とする。
- ・始業前は活動しない。

イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・土日のいずれかは、原則「休業日」とする。
- ・毎月、「第3日曜日〈家庭の日〉」は、原則、年間を通して「休業日」とする。
- ・活動時間は3時間程度とし、長時間〔終日〕練習はしない。

ウ. 長期休業中

- ・土日については、原則活動しない。
- ・活動時間は3時間程度とし、長時間〔終日〕練習はしない。

※ただし、イ・ウについては、大会・コンクール等の日程により、土日開催になった場合は、練習休養日を平日に振り返る場合もある。

4 その他

(1) 保護者及び地域との連携

- ・顧問は、日頃から保護者との信頼関係を築くために、情報を発信したり、保護者会等を開催したりして、保護者から理解を得られる部活動運営に努める。

(2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設・設備、道具等について、管理を適切に行うとともに、常にその状態を把握するために定期的な安全点検を行う。
- ・緊急の事態や不測の事態にも対処できるよう、応急手当の方法を確認したり、管理職や医療機関への連絡方法を確認したりして救急体制を確立しておく。また、日頃から生徒にけがや熱中症について知識・予防等について啓発していく。